



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

あこ

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
 Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



新年のご挨拶

病院長 脇田 富雄



新年明けましておめでとうございます。平素より当院および関連施設の運営に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。旧年中は、医師会の先生方をはじめ、地域の保健・医療・介護・福祉等に携わっておられる皆様方に大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月の連休明けに新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類となり、医療界・経済産業界等にも色々と変化がありましたが、病院関連では、面会禁止が面会制限に緩和されたことではないかと思えます(当院では現在インフルエンザの流行により面会禁止としています)。

さて、当院の病院理念は「信頼される地域医療」ですが、地域医療とは?との問いに対する答えは、色々あるかと思えます。「地域医療」という言葉の「地域」には、地方の地域もあれば、都市部の地域もあり、ひとくくりにはいかないため、色んな地域医療があると考えられます。それぞれの地域での地域医療があるということになります。超少子高齢化が進む天草地域にも、熊本市から近い地域もあれば遠い地域もあり、離島もあるわけで、それぞれで違った地域医療があるのではないかと思います。地理的・空間的な違いだけでなく、時間的にも地域医療は変わっていく必要があるかと思えます。人口が多かった少子高齢化になる前の時期と、少子高齢化

と言われるようになった時期、さらに超少子高齢化が進んだ時期とでは、同じ地域でも地域医療も変わっていく必要があると思えます。各時代に合った医療の提供が必要と考えます。どんどん変化する時代は、特に新型コロナウイルス感染症により変わったのではないのでしょうか。急速に、また強制的に社会のデジタル化は進んだと思われまます。医療の分野でもそうだと思います。医療のDXを地方でも恩恵が受けていけるような取り組みを進めていく必要があると考えます。非対面や遠隔地からの受診もできるようなオンライン診療もその一つだと考えます。医師確保が困難な状況となる中、また超少子高齢化が進む地域で医療介護スタッフの確保が困難となる中、さらには地域間での医療較差、医療の偏在が顕在化していく中、昨年は当院でも医療者コミュニケーションツールとしてのJOINを導入し、現場の業務効率化や負担の軽減、情報の共有に役立っているものと考えます。

超少子高齢化が進む上天草地域で、「持続可能な地域医療提供体制を確保」し、地域の住民の皆様にも、また医師会の先生方をはじめとした保健・医療・介護・福祉にかかわっておられる皆様にも、当院の理念である「信頼される地域医療」を提供していきたいと思っております。本年も皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年正月

龍の年、龍ヶ岳で殖（ふ）えよ、栄えよ、港のうさぎ

上天草市病院事業管理者 岸川 秀樹



新年あけましておめでとうございます。2024年も上天草市で皆様と共に仕事ができることを、とてもうれしく思っています。

昨年、新型コロナウイルス感染症は、罹患すれば死に至る可能性も覚悟しなければならぬ病気から、インフルエンザ並みの危険性の病気（5類感染症）に変わりました。今後も、再流行やウイルスの毒性変化に備える状態は続き、侮ることはできませんが、当面、大きな山は越えたように感じています。新型コロナウイルス感染症との闘いの中では、皆様も、医学・医療の進歩・変化を体感されたことと思います。昭和50年代、体温計は水銀体温計で、水銀柱を戻すため体温計を振る仕草が必要でしたが、電子体温計になり、コロナ禍では非接触型体温計も身近になりました。病院の医療機器も常に最新の診断治療機器が必要です。普段皆様にあまり紹介しておりませんが、上天草総合病院も、画像診断機器・生化学検査機器などを常に新しくし、市民の皆様に最新の医療を提供できる体制を維持しています。コロナ感染症の対応に際し、病院は新型コロナウイルス感染症関連の財政支援を頂くことができましたので、直近3年間の財政収支は大きく改善し、病院設備の更新も可能になったという正の側面があったことも報告いたします。

医療をはじめとする社会変化に対応するためには不眠の投資が必要ですが、地域の有形・無形の文化維持には植物を育てる時のような心配りが重要と思います。私は昨年秋に龍ヶ岳町ですばらしい無形文化遺産に出会いました。町内放送で「9月29日から10月1日は沿岸部で高潮の恐れがあります」とのアナウンスを聞いた夜でした。満月は南の空に高く、少し小さめ、空一面の薄い雲を通して月の形が見えましたが、月のウサギの形がみえるほど鮮明ではなく、小屋河内港の岸壁で海水を触ると、地面から10cm下ほど

にまで上がっていました。毎晩のように宿舎に聞こえてくる太鼓の音がどこからくるかを知りたくて港を過ぎると、高戸神社の前で、年長の子供と、5名ほどの大人が街灯の下で太鼓を打っていました。10数名の子供たちが、4,5名のグループになり、一人が太鼓を打ち続けるのではなく、1回太鼓を打つと、次の子供が打つ、次の順番がくるまで、バチを持ち空に大きく手を伸ばすようなポーズ、かがみこむポーズ、など一定の数ポーズをとった後、また太鼓をうつ番になり、一定のリズムで太鼓がなるようでした。月のウサギを連想させるポーズで、居合わせた知人に挨拶し、バチを持った両手がそれぞれ空を指すのは、月や星を指しているんですかと問うと、動きを大きく見せるためですよ、あの動きを1時間半ほど続けます。練習は夜ですが、本番は暑い昼で、さらにきついですよ、との回答でした。しばらく、同じ動き、同じリズムの太鼓の音を聞いていると、指導の若衆から講評と今後の予定が告げられ、解散となりました。宿舎に帰り、家内に港でウサギ達の太鼓の稽古を見てきたと電話すると、良かった、と言い、海に落ちずに帰ってきたことを安堵してくれているようでした。上天草市の無形文化遺産に接し、心落ち着く日になりました。

病院機能の維持など、生活のためのインフラ整備は無論重要ですが、生活を彩る文化事業も同様に重要と思います。港のウサギ達を紹介するなど、熊本県の中でも文化的特色のある伝統地域であることを、全国に知って頂くことも必要ではないかと感じました。

本年も上天草総合病院が上天草市での高い評価を頂き、熊本県で有数の病院としてその存在感が高まるよう、病院のスタッフの皆様、また地域の皆様と共に頑張ります。病院事業管理者の任期も残りわずかになりましたが、任期終了後も上天草地域に関われるような道を模索します。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

研修会・勉強会の行事予定表

1月10日(水)	糖尿病教室 糖尿病と高血圧の関係について	13:00～ 当院6階講堂
1月12日(金)	(学研・基礎研修) 輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション	15:00～ 当院6階講堂
1月19日(金)	心臓リハビリテーション教室 開催は中止します	
	がんサロン 今月の開催はありません 次回、3月の予定です	

新年のご挨拶

看護部長 山中 小百合



明けまして、おめでとうございます。旧年中は、当院看護部の運営事業等へのご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが5類へ移行しましたが、その後も一定数の新規感染者やインフルエンザウイルスの感染者数の増加もあり、どの医療機関も引き続きの感染対応で大変なご負担だと思います。新たな年を迎えましたが、状況は、大きく変わらないのではないのでしょうか。一方で社会活動は、コロナ禍前以上に活発化したように感じます。上天草市では、4年ぶりに五橋祭が開催され、当院も道中踊りに参加させていただきました。久しぶりに参加して、たくさんの方が集まることに少し不安を感じていたのですが、お祭

りに来ていた皆さんが、とても楽しそうで嬉しそうにされているのを見て、やっぱり人と人が触れ合うことは、人生において本当に大切な事だと改めて思いました。

さて、上天草地域では高齢化率の増加が、さらに深刻化しています。、当院への入院患者さんの平均年齢は、82歳で高齢者夫婦のみや独居の方も年々増えています。高齢者の方だけの生活は、ますます厳しい状況となると言えます。その暮らしを守り、上天草で最後まで暮らしていただけるように、私たち看護師が中心となり、在宅医療を強化していかなくてはなりません。そのためには、関係施設の皆様との連携が必要です。役割が十分に発揮できますように、さらに良い関係づくりを構築していきたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

新年のご挨拶

事務部長 須崎 朝幸



謹んで新春のお慶びを申し上げます。新年が皆さまにとって、希望に満ち、幸せな瞬間が重なる素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、皆さまからの温かいご支援とご理解を賜り、無事新年を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

さて、昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」へ移行したことに伴い、外出制限等がなくなったことにより、上天草市においても多くのイベントが開催されるようになりました。少しずつではありますが、コロナ前の日常に戻りつつあるように感じられ、私自身、大変うれしく思っています。

ただ、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではありませんので、引き続き、感染拡大防止に最善を尽くします。

2024年も、上天草総合病院は、患者さまとの絆を大切に、信頼される医療機関であり続けるため、さらなる向上を目指してまいります。医療は絶えず進化し、変化するものではありませんが、地域住民の健康を守り、サポートするため、情熱をもって努めてまいります。

今年も上天草総合病院を信頼していただけるよう、スタッフ一同、精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

新しい一年が皆さまにとって幸多いものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

編集後記

○あけましておめでとうございます。年末にも書きましたが今年辰年です。龍ヶ岳の古い呼び名は壽ヶ嶽(じゅがたけ)と言ったそうです。壽ヶ嶽神社にお祭りされているのは弁財天だそうです。水の神ですから龍神とも見られる向きもあり、龍ヶ岳という名前が変わったのかもしれませんが。今年全国的には診療報酬改定、病院にとっては病棟改編があります。ポストコロナの医療政策、どうなりますでしょうか。(竹下)

1月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 中原 大智 浦川 朋也	岸川 秀樹 和田 正文 中村 太造 堤 龍子	中原 大智 浦川 朋也 中村 太造	和田 正文 細川 貴規 中原 大智 ※高柳 宏史	細川 貴規 堤 龍子 浦川 朋也	
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	—	※山本 正啓	脇田 富雄	1/26(金)
外科	高塚 二郎	—	高塚 二郎	—	—	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
婦人科	坂口 優子	—	坂口 優子	—	—	
※診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで)						
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 村上 直也 (午後・予約制)	藤松 晃一	※東 宗一郎	1/19(金)
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の村上医師の診療は午後、予約制となります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二 古島 京佳	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	—	—	—	江頭 翔	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	1/5(金)
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	高塚 二郎	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 (午後)	中原 大智	—	応援	応援	浦川 朋也	
御所浦診療所 (午前)	竹下 哲二	—	—	—	—	
栖本病院 (午前)	—	—	堤 龍子	—	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。